

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

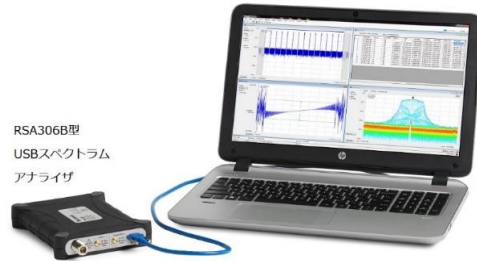
ユースケース	<p>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</p> <p><input type="checkbox"/>①生産現場における課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール</p> <p><input type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール</p> <p><input type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>				
	ツール名	あらゆる電波の可視化が可能なRSA306B型USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザ			
候補者	(フリガナ) ティーエフエフ テクトロニクスシャ	他 名	企業名/学校名	(フリガナ)	
	株式会社TFF テクトロニクス社		団体名/個人名		
企業区分	<input type="checkbox"/> 大企業	所在地	東京都	開発形態	<input checked="" type="checkbox"/> 既存のモノを利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業			<input type="checkbox"/> 新規開発	
	<input type="checkbox"/> 学生			開発費用	<input type="checkbox"/> 分からない
	<input type="checkbox"/> その他 ()			<input checked="" type="checkbox"/> 約60万円	

ツールのPRポイント	
<p>◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内</p> <p>無線通信機能を搭載したIoTデバイスを評価するためには、スペクトラム・アナライザと呼ばれる測定器が必要となるが、従来のスペクトラム・アナライザは高価で大型であったため、導入のハードルが高かった。RSA306B型 USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザは信号処理を汎用のPCで行うことにより大幅な低価格化と小型化を実現している。このため、IoT機器開発に必要な無線解析機能を搭載した測定器の導入が容易になる。</p>	
<p>◎導入容易性やコストパフォーマンス ※300字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのこういった効果が期待できるか)</p> <p>コントローラとして汎用のPCを使用することでコストダウンを実現している。通常のWindowsソフトウェアと同様な操作性なので、測定器の操作に慣れていないユーザでも簡単に操作することが可能。従来は同等の解析機能を持ったアナライザの導入には100万円以上の予算が必要であったが、RSA306B型はコントローラPCを含めても約60万円から導入が可能であり、コストパフォーマンスに優れている。</p>	
<p>◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)</p> <p>一般的なスペクトラム・アナライザと比較して非常に小型で安価であるため導入が容易であり、使用場所を選ばない。無線通信機能の検証においてはBluetoothや無線LAN等の様々な規格の測定に対応しており、技適試験(技術基準適合試験)のための事前評価にも使用することが可能である。それ以外にも電波環境の可視化やトラブルの原因となる電波干渉の測定、製品出荷時に必須となるEMI対策のためのノイズの測定も行える。そのため、製品開発用途だけではなく、生産現場での品質管理から納入後のトラブル対策やメンテナンス用途にも使用可能。また、オプションの追加により無線信号の長時間レコーディングに対応することができるため、運用時のトラブルシューティングの効率化に貢献する。</p>	
<p>◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内</p> <p>Windows搭載のPCに制御ソフトウェアをインストールし、全ての操作と表示はPC上で行う。スペクトラム・アナライザとPCとの間はUSB3.0インターフェースで接続する。周波数やレベルの設定を行ってから測定項目ごとのウィンドウを開くことによって各種測定を実施する。マルチウィンドウ・インターフェースなので、複数の測定を同時に実行することが可能である。</p>	
<p>記載事項チェック欄</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 印刷時に枠内に文字が収まっているか。</p>	

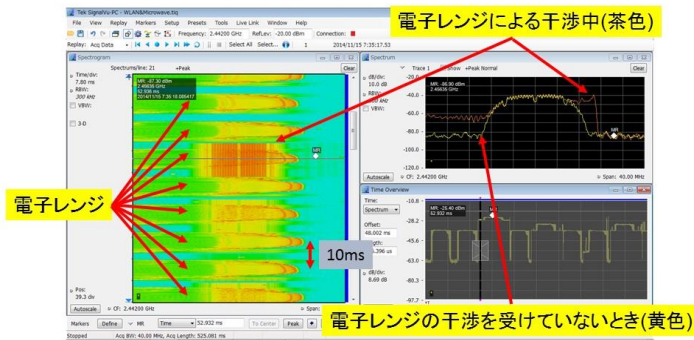
(様式2)「案件の自由記述及び、概要図・写真」

◎自由記述 ※1500字以内 導入事例・実績、導入支援体制(有れば)等記載、その他概要図、写真の貼付も可 ※4点

RSB306B型はIoTデバイスの開発用とやフィールドでのトラブル対策用に多数納入されている。導入支援体制としては、定期的に製品の操作方法を体験できるハンズオンセミナーを実施しており、納入前の仕様確認や導入後の操作方法の習得に使用していただける。添付の動画は2.4GHz帯の無線LAN信号が電子レンジから発する電波の影響を受けている様子をRSA306B型リアルタイム・スペクトラム・アナライザで測定した例である。動画開始時点では無線LANの通信に障害はないが、開始から20秒の時点で電子レンジの電源が入ったため、最終的に電子レンジの干渉を受けて無線LANの通信が途絶えている。このように電波環境の変化をリアルタイムで可視化することが出来るため、IoTの運用現場で通信エラーが起こったときの原因究明に役立てることが出来る。



無線LANと電子レンジの干渉測定



記載事項チェック欄

印刷時に枠内に文字が収まっているか。

図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

あらゆる電波の可視化が可能なRSA306B型USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザ

ひとことPRコメント(15文字以内)

電波の可視化でトラブル解決！

参考Webページ(URL)

<http://jp.tek.com/spectrum-analyzer/rsa306-usb>

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	テクトロニクス社
住所	〒108-6106 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB棟6階
電話番号	0120-441-046
メール	ccc.jp@tektronix.com
ホームページ	http://jp.tek.com
担当者名	(ふりがな)